

通行ルールの順守を

トンネル舗装現場で

佐藤渡辺の石井社長

佐藤渡辺の石井直孝社長は21日、兵庫県豊岡市で施工する「日高豊岡南道路上石トンネル舗装工事」の現場で、安全パトロールを実施した。写真。石井社長を始め、堂尻伸

二工事本部安全環境部長、藤岡勝巳近畿支店長、長嶋栄治近畿支店安全環境部担当部長が参加し、現場の安全対策や注意点などを確認した。

同工事は、施工区間が周辺の住居に近接しているため、材料搬入車両が運航経路を順守することはもちろん、運航ルール、マナーの教育を徹底



し、スリップフォームペイバリーによる情報化施工で品質に優れた道路を無事故・無災害で完成させることを目標としている。

パトロールでは、工事概要や工程、進捗などについて現場事務所で説明を受けた後、延長1231mのトンネル現

場内を徒歩で見回った。当日はトンネル内監視員通路の砂詰作業や通信管路工の予備線の通線作業を実施しており、作業帯や作業方法の安全を確認したほか、コンクリート舗装の準備工などの説明を受け、生コン車の搬入とスリップフォームペイバーなどの接触事故防止対策を確認した。

パトロール後、石井社長は「トンネル内の現場は整理整頓されており、作業環境は良好に保たれている。来週からコンクリート舗装の施工に入るが、現場で決めた通行ルールを守り、無事故・無災害で工事を完成させてもらいたい」とコメントした。

